

映画「沈黙の50年」上映会および学習会

2018年1月、仙台の女性が初めて国に賠償を求めて提訴。それをきっかけに全日本ろうあ連盟の全国調査によって、被害者が50年もの沈黙を破り始めました。被害者が勇気を振り絞って裁判に立ち上がったのです。しかしながら、多くの被害者は沈黙の状況に置かれています。

それで、優生保護法問題の全面解決を目指すことと人権障害の苦悩となる差別偏見・優生思考を克服するために、今なお、被害を訴えることが困難な状況におかれている被害者の皆さんの心に訴えるとともに、国会と政府を動かし、政治的解決の可能性を追求し、そういう流れを映画にしました。そういう趣意や理解を大衆の皆さんに深めていただくことを目的とします。

【映画のあらすじ】

「元の身体に返して、二人の赤ちゃんを返して」と訴え続けて亡くなった喜美子さん、木工職人の寶二さん。いじめと暴力に耐え続けてきた沈黙の幾歳月。ろうあ連盟の被害者調査をきっかけに、仲間の励ましに「差別のない社会を」と提訴を決断された小林さん夫婦。その凄絶な人生をたどります。そして各地で沈黙を破って自分を語り始めた被害者の証言、共に歩む仲間の訴えを紹介します。

【日程】

17:00～18:00 受付

18:00～18:05 開会の挨拶

18:05～18:10 会長の挨拶および講師紹介

18:10～19:30 学習会 テーマ「優生保護法問題と運動」

19:40～20:50 映画「沈黙の50年」上映

20:50～21:15 まとめ

21:15～21:20 閉会の挨拶

日 時：令和7年12月6日（土）

開場 午後17:00 開会 午後18:00

場 所：宮古島市中央公民館 研修室

参加費 大人・高校生以上 前売1,800円（当日2,000円）

小学校高学年・中学生 前売1,300円（当日1,500円）

※学習会も開催します。

テーマ『優生保護法問題と運動』

主 催 一般社団法人 沖縄県聴覚障害者協会

協 力 （財団法人）全日本ろうあ連盟 映画「沈黙の50年」制作委員会